

河川砂防技術研究開発公募(河川技術分野)平成21年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
MPLレーダネットワークによる雨と風の3次元分布推定手法の開発(研究期間:H21年~H24年)	(独)防災科学技術研究所 眞木 雅之	A
<p><研究概要></p> <p>MPLレーダネットワークデータから雨と風の3次元分布をリアルタイムで求めるために必要な技術として、最適なレーダ配置や観測モードを決定するためのネットワークレーダ観測シミュレータ、より高精度のアルゴリズムを用いた雨と風の推定手法、風水害の発生予測に有効な鉛直積算雨水量や実効雨雨量などのパラメータの算出手法を開発した。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>新たな降雨強度推定アルゴリズムの開発をはじめとして、KDP法による降雨量推定の最適化や弱雨域への適用、複数台のMPLレーダの最適配置・運用に資するネットワークレーダシミュレータの開発など、実務的に有用な技術開発を行った。研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。すでにXバンドMPLレーダ観測における基礎技術として実装されている成果も多い。</p> <p>今後は、雨や風の三次元構造把握技術の短時間降雨予測への応用や、河川工学と連携した研究が進むことが期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い